

owariasahi

sango station



お問い合わせ

市役所三郷駅周辺整備推進室 TEL:0561-76-8182

🌐 <https://35project.com/>

▶ 三郷駅前まち育てプロジェクト

🐦 @35proj

📘 <https://www.facebook.com/groups/35proj>



Webサイト



Facebookグループ

2022年2月23日発行

©三郷駅前まち育てプロジェクト／尾張旭市役所／愛知県立芸術大学



三郷駅前
まち育て
プロジェクト

SKETCH BOOK

スケッチブック

三郷駅前
まち育て
プロジェクト

35 三郷駅前 まち育て プロジェクト SKETCH BOOK スケッチブック

もくじ

- 1.自然とつながる新たな骨格 p4,5
- 2.市内移住ができるまち p6,7
- 3.森林公園をもっと活かす p8,9
- 4.自由に活動ができるオープンな空間 p10,11
- 5.子ども目線のまちづくり p12,13
- 6.歩いて暮らせるお買い物タウン p14,15
- 7.異文化つながる楽しい防災 p16,17
- 8.人があんまり集まりすぎない p18,19
- 9.人情あふれる「35ichiba」 p20,21
- 10.情報センターから生まれる繋がり p22,23

三郷駅前まち育てプロジェクト

三郷駅前の再開発に向けて地域住民の願いや実現したい活動をサポートすべく、尾張旭市と愛知県立芸術大学が共同で行うまちづくり支援プロジェクトです。

「SKETCH BOOK」は、これまで行ってきた市民参加型のワークショップなどの意見を整理分析し、三郷駅前のまち育てコンセプトを可視化する試みを行なったものです。本ブックでの提案が市民の皆様により良い選択肢となることを期待します。

背景

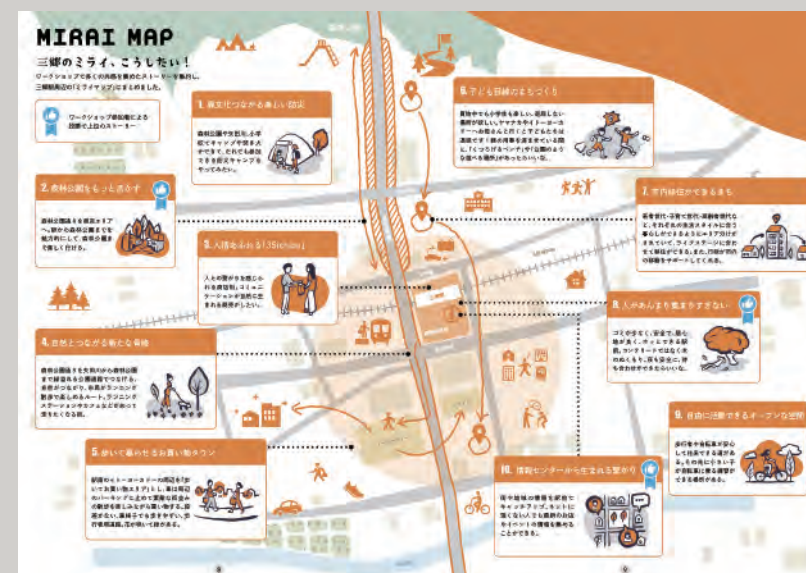
プロジェクト全体は大きく4つのphaseから構成されています。phase01では、より多くの市民に自分事と思ってもらうために、リノベーションまちづくりを実践する3名の有識者の話を聞くオンラインフォーラムを開催。また、愛知県芸の学生12名が駅前を調査し、学生目線のデザイン提案を行いました。phase02では、三郷駅を利用する30名の市民から三郷生活のアイデンティティをヒアリングし、学生によって漫画化されました。この漫画を起点にphase03では、三郷駅前にどんな未来シナリオを期待したいかアイデアを出し合うワークショップ(WS)を実施し、WSの参加者は小学生から70代の高齢者まで多様でユニークな意見が多く出ました。phase04では、これらの意見を整理分析し、三郷駅前のまち育てコンセプトを可視化する試みを行ない本ブックにまとめました。



phase03までの活動は、「三郷駅前まち育てプロジェクトレポートブック」をご覧ください。



提案におけるテーマと観点



市民参加型のワークショップによって生まれた10の未来ストーリーをテーマとして再設定し、「再開発基本計画への提案」「公共施設の基本構想への提案」「駅周辺まち育てへの提案」の3つの観点で、具体的な施策を検討しました。

- 再開発基本計画への提案
- 公共施設の基本構想への提案
- 駅周辺まち育てへの提案

自然とつながる新たな骨格 (MIRAI MAP4)

“街と自然が一体となり暮らしに溶け込む”

駅は、来街者、住民双方にとって、そのまちを代表する「まちの顔」である。
三郷駅が、森林公園や矢田川といった自然とのつながりを強化し、新しい都市の骨格となり、ひいては新しい尾張旭市の顔となることで、新しい暮らし方、働き方ができるまちへと生まれ変わる起点となる。



再開発基本計画への提案

- ・壁面緑化等を活用した多様な緑のデザインとそれを楽しみながらプロと市民が共同で育てる体制づくり
- ・自然との接点をテーマにした良質なテナントを誘致（アウトドア、ガーデニング等）
- ・ジョギングやサイクリングの起点となる駅前、自転車やランニングでまちを行き来する人たちが立ち寄る場所（お店や施設）の整備
- ・森林公園や矢田川を楽しむための情報発信ターミナル



公共施設の基本構想への提案

- ・瀬戸線（東西軸）と「森の手※1」から「川の手※2」（南北軸）の交差する駅前を「GATE」としてシンボリックに表現
- ・起点となる緑地および緑道の整備
- ・新しい都市の骨格となる緑道
- ・南北軸（自然軸）の中心としてスポーツ、SDG's スポーツ健康の拠点（例：プロギングのギアデザイン、マップ作成）

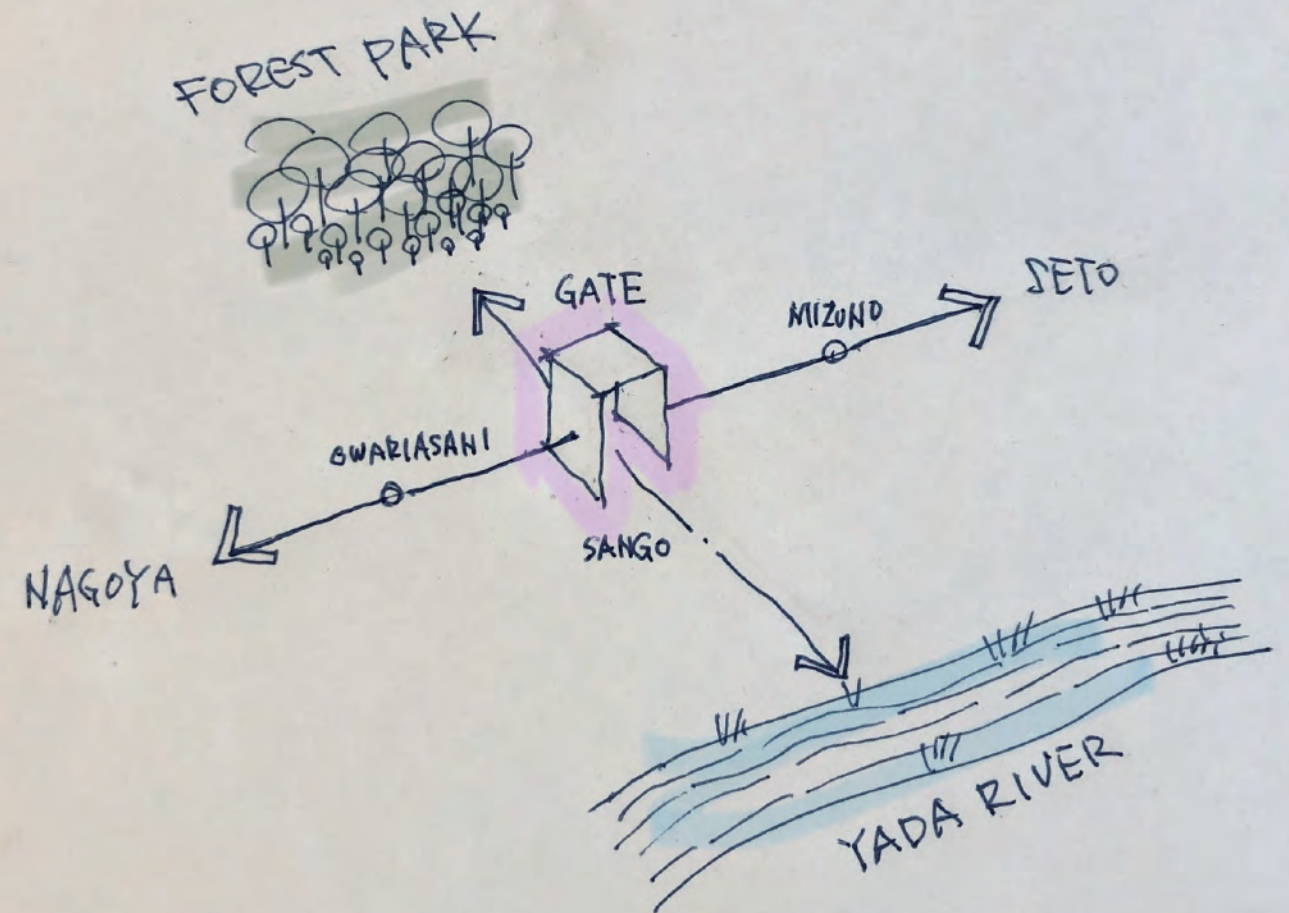
※1「森の手」…愛知県森林公園側

※2「川の手」…矢田川側



駅周辺まち育てへの提案

- ・矢田川から森林公園まで緑あふれる公園道路、緑道として整備（例：ランニング、散歩、サイクリングなど走りたくなる街道）
- ・沿道の商店や住宅に緑化助成金や緑化ポイント
- ・矢田川の河川敷を公園にしてつなげる
- ・散歩したくなる遊歩道の整備



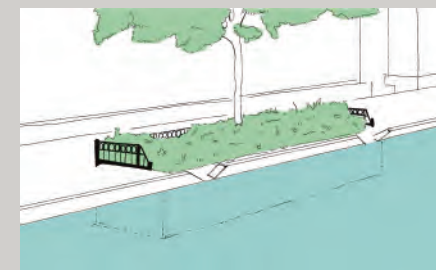
大都市の名古屋市、文化が残る瀬戸市のヒトの流動が盛んな中継地点に位置し、矢田川と森林公園といった自然のロケーションをつなぎ通すイメージ

参考事例

グリーンインフラをまちづくりに活かす先行例や、グリーンインフラを市民とともに育む手法としてプロギングを紹介します。

ストーリーデザイン グリーンインフラ

最も一般的なグリーンインフラであるレインガーデンを下水道事情で悩むニューヨーク市が実装



<https://green-infra.jp/ex/NewYork/>

ブランディング ながれやま Style

都心から一番近い森のまち
都心から最短 20 分の、森とみどりがある暮らし



<https://brand.city.nagareyama.chiba.jp/>

Plogging Tour NAGOYA

名古屋市が主催する、参加者を募って名古屋市の各ロケーションをプロギング
<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000133345.html>

プロギング

ごみ拾い (PlockaUp) とジョギング (Jogging) を合わせたスウェーデン発の新鮮な感覚 SDGs スポーツ

<https://note.com/gabinc/n/n28369dd6436e>

市内移住ができるまち (MIRAI MAP7)

“ライフステージに合わせて移住ができる”

子どもが小さいうちは郊外の大きな庭付き住宅、子どもが巣立っていったらコンパクトで利便性のいいマンション、といった形でライフステージに合わせた住まいを提供することが重要である。こうした市内移住促進に役立つ「駅前の住まい」のあり方を模索、実現する。



再開発基本計画への提案

- ・駅前と駅周辺、外縁の住み替えを斡旋する新しいビジネス
- ・住居エリアに、若者、子育て世代、高齢世代が混ざり合って入居できるような工夫
- ・賃貸物件の導入による住民の循環の可能性
サブリース物件を許可する＝まちづくり会社が一定区画を買い上げてリース
お試し入居ができる部屋
入居者の関係者が宿泊できるゲストルームなど
- ・駅近の便利な賃貸物件に高齢者枠 ⇄ 高齢者の自宅を賃貸支援
- ・个性的で自分らしい住み方を助け合う市民サークル活動支援
(例：ライフスタイル毎にコミュニティメディアを発行、編集拠点の整備)



公共施設の基本構想への提案

- ・高齢者が駅近の賃貸物件を借りられるよう自治体が保証サポート
- ・市内移住や支援の情報提供



駅周辺まち育てへの提案

- ・空き物件と入居希望者のマッチングシステムをつくり、
市民がアクセスできるようにする
- ・希望者を募集＞サポートし、モデルケースを作ることで、住み替えを啓蒙する
- ・空き店舗活用支援
- ・サービスを利用したい住民間の協力体制づくり



都市から自然へ、自然から都市へ

ライフステージに合わせた移住を円滑に行える環境とコミュニティ形成

参考事例

移住促進を推進する先行例として、京都市・金沢市の移住サポートセンターを紹介しています。

住むなら京都

京都市移住サポートセンター



<https://cocoronosousei.com/>

金沢市 マイホーム借上げ制度



<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/jutakuseisakuka/gyomuannai/1/6305.html>

森林公園をもっと活かす (MIRAI MAP2)

“森林公園が街のアイデンティティとなる”

森林公園は、散歩や子供たちの遊び場、また家族団らんの場として各世代においても、三郷地域の住民にとって、欠かすことのできない存在である。
この森林公園をもっと身近に感じてもらえるように駅前空間をデザインし、森林公園との連携を深める。



再開発基本計画への提案

- ・森林公園とのコラボイベントを駅前広場で実施
(例:「森の駅」をコンセプトに、森林をテーマにしたマルシェ)
- ・森林公園が強いアイデンティティになる森を感じるデザイン
- ・駐輪場を利用している駅利用者を意識したテナント誘致
- ・駅前のマンションから望む森林公園
(例:スカイラウンジ、屋上芝生広場)



公共施設の基本構想への提案

- ・森を感じるデザイン
(例:県産材利用、グリーンインフラ、緑陰、インナーグリーン※1、アウトドア)
- ・低炭素などを含めた都市環境への配慮
- ・森林公園の移行帯(人と森のエコトーン※2)
- ・森林公園とのコラボイベントの実施
(例:森林の恵みでDIY教室)

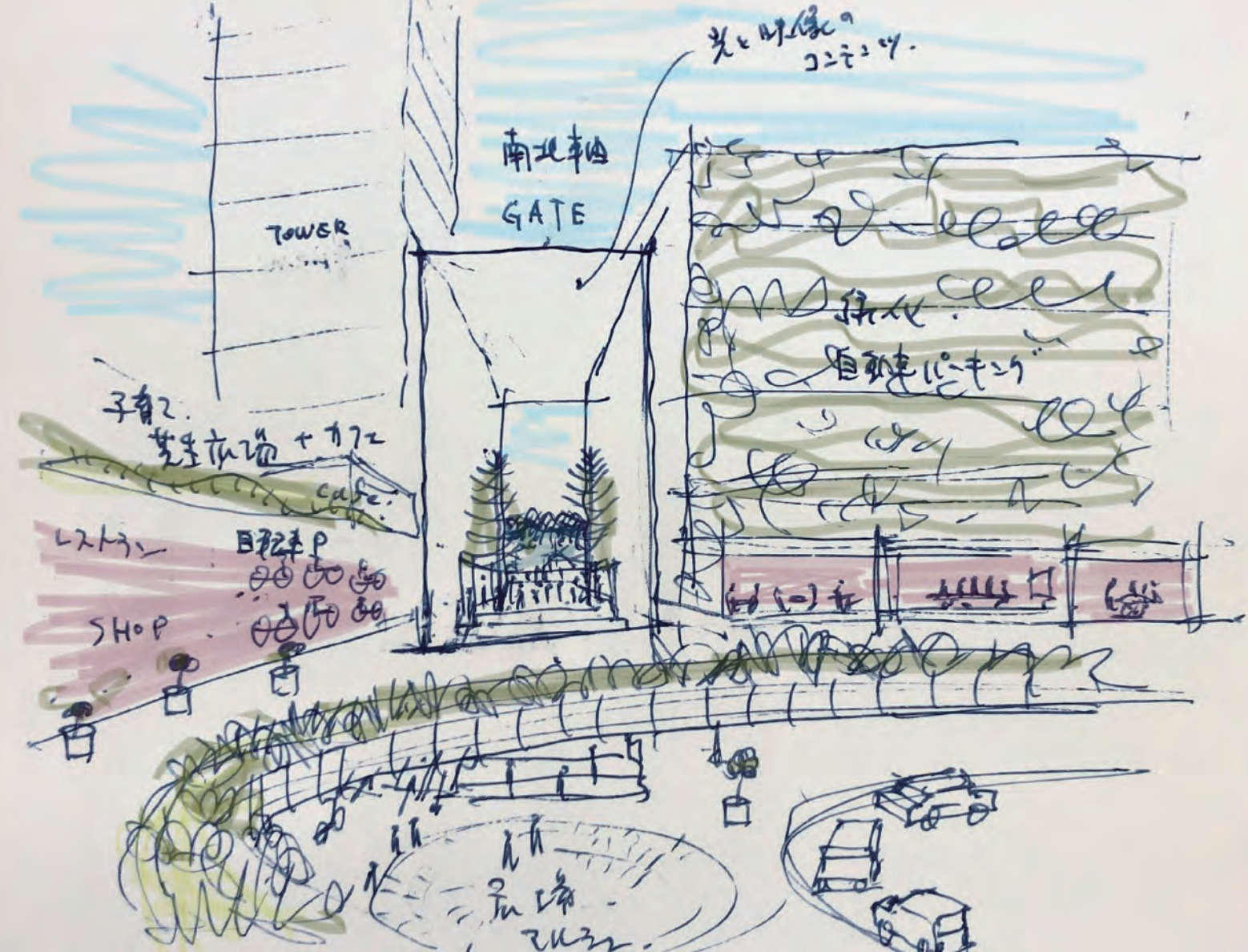
※1 インナーグリーン…都市内に緑地を設けること

※2 エコトーン…異なる環境が連続的に推移して接している場所



駅周辺まち育てへの提案

- ・三郷駅の愛称を森林公園駅前(駅北口を森林公園口)にする
- ・三郷駅から森林公園にいたるストリートの整備と沿道への商店誘致
(例:空き地や空き家のリノベーションまちづくりの展開)
- ・森林公園にキャンプサイトの開設
- ・キャンプグッズ店とも連携
(例:Snowpeak×Sango)



都市部にあたる三郷駅前でも近くの森林公園の存在を感じ取れる雰囲気をつくる

参考事例

森をテーマにした空間(森の中で働くアウトドアオフィス)やイベントの先行例を紹介しています。

森のマルシェ

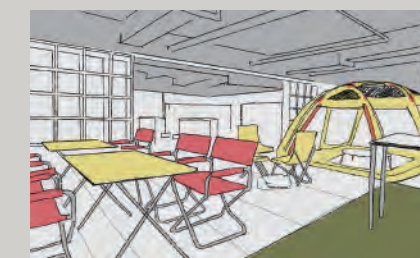
森をテーマにしたイベントを運営



<https://www.instagram.com/morinomarche/?hl=ja>

Camping Office osoto

スノーピークが運営する
コワーキングスペース



<https://osoto.net/osoto/nagoya>

<https://osoto.net/osoto/okazaki>

自由に活動ができるオープンな空間 (MIRAI MAP9)

“歩行者や自転車が安心して往来できる”

「あそこの場所にいくと、誰かに会える、何かに会える」

そんな期待感の溢れる駅前が必要である。

駅利用者も施設（お店や公共施設）利用者もバス利用者も地元の方も、オープンスペース（みちや広場）で、やりたいことが自由にできる。そのきっかけとなる情報と空間をつくる。



再開発基本計画への提案

- ・駅利用者が安心して待ち合せができる、送迎の待合となる場所づくり
- ・発信する場（市民ギャラリー+ホワイエ※¹）
- ・目的別のマップに切り替わるサイネージ
- ・オンラインで参加できるカルチャーセンター
- ・オープンスペースの利用に関する社会実験を行う（屋内）

※ホワイエ…劇場やホールなどの、入口から観客席までの広い通路のこと



公共施設の基本構想への提案

- ・歩行者や自転車が安心して往来できる道がある
- ・駅前だけではなく、地域全体に意図的に「自由に使える空間」を点在させる
- ・趣味や会議が自由に活動できる空間
- ・時間貸しミーティングルーム
- ・オープンスペースの利用に関する社会実験を行う（屋外）



駅周辺まち育てへの提案

- ・駅から少し離れた先に、小さい子が自転車にのって練習できる場所をつくる（例：歩行者専用道路、路地裏公園）



既存のパブリックスペースをもっと住民のやりたいことができる空間へと発展させる

参考事例

オープンスペース（みち、空き地、空きビル等）を使いこなす事例の紹介です

sotonoba

ソトやパブリックスペースを豊かにしていくことを目指すメディアプラットフォーム



<https://sotonoba.place/>

二子玉川 アートアンドマート

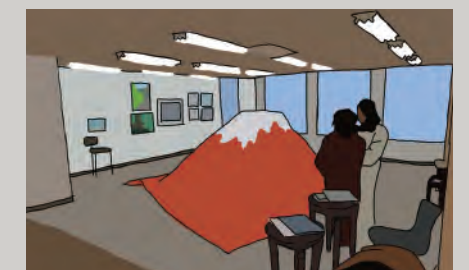


<https://nikotama.keizai.biz/headline/202/>

全体マップ

<https://www.facebook.com/futakoart/photos/pcb.1324092697624402/1324090887624583>

解体前ビルを フル活用したアート展



<https://www.re-port.net/article/topics/0000061307/>

空きスペースを活用した 活動やイベント

<https://www.facebook.com/fabcafenagoya/photos/pcb.468161084885702/468161018219042/>

“買い物中でも小学生も楽しい退屈しない場所がある”

三郷地域は、多様なスーパーが集積し、買い物が楽しく、子育て世代に優しいまちである。大人はお目当ての買い物をしっかりできる。その間、子どもたちが退屈せずに過ごすことができる。その両方をかなえる場と情報のデザインを進める。



再開発基本計画への提案

- ・子育て親子が集まる芝生広場のあるカフェ
- ・子どもが遊べる場所のマップに切り替わるサイネージ
(楽しさが外からも見える公共施設)★¹
- ・豊かな自然や遊ぶ場所
- ・安心できる託児所
- ・バーチャル 35 (GPS 位置情報ゲームあるいはメタバース※¹ モール)
- ・世界と繋がるゲートのエンターテインメント性

※¹メタバース…コンピュータネットワークの中に構築された、現実世界とは異なる3次元の仮想空間やそのサービスのこと



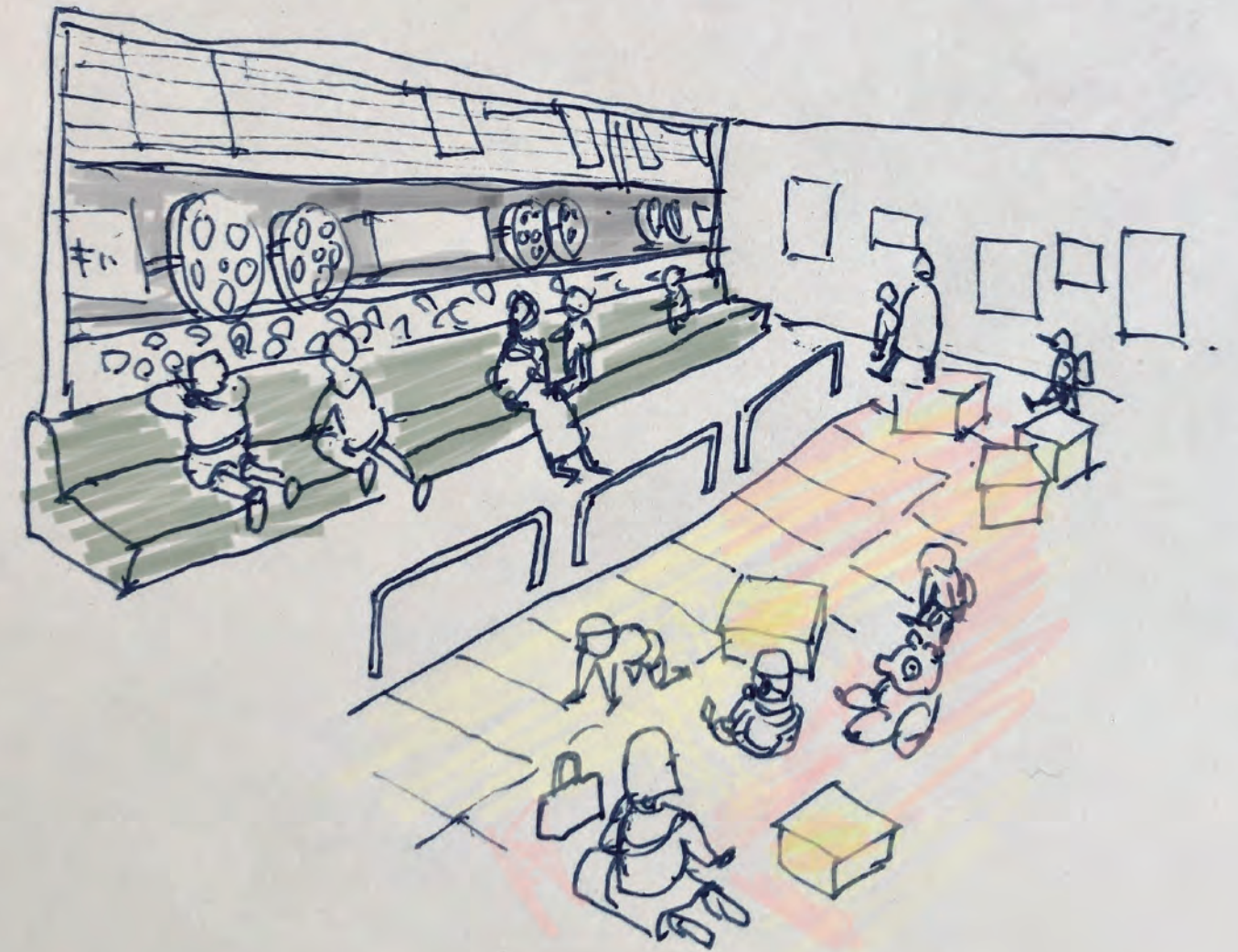
公共施設の基本構想への提案

- ・お母さんが買い物中、子どもが遊んでいられる場所づくり
- ・子供企画会議によるイベント開催



駅周辺まち育てへの提案

- ・ヤマナカやイトーヨーカドーの隣(駐車場の一角)にくつろげるベンチあそび場、公園の整備
- ・メタバースとリアル世界の接点となるランドマークを方々に埋め込む
- ・畑や田んぼまで連れてってくれるモビリティ
- ・農業体験がしたい



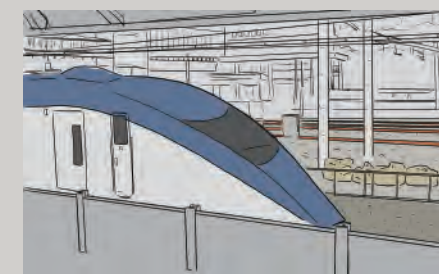
常に行き交う電車が見られて、三郷駅に興味や愛着が芽生える子どものための環境づくり

参考事例

子どもが楽しめる駅前の参考例(電車を眺められるカフェ、体験ワークショップ、子どもが遊べる場所MAP)を紹介しています。

電車を眺めるカフェ

本物の電車やプラレール、
模型などが見られるカフェ&レストラン



<https://www.ryutsuu.biz/topix/i100410.html>

キッズパーク

体験学習ができるワークショップが定期的
に行われており、夏休みなどの長期休暇に
は、玩具メーカーなどの多彩なイベントを
開催



<https://report.iko-yo.net/articles/13085>

★¹

岡崎市では「りぶらと遊ぼうMAP」と題して、
りぶら周辺の子連れでも遊べるスポットを可
視化したMAPを市民主体で作成

歩いて暮らせるお買い物タウン (MIRAI MAP5)

“気軽にアクセスでき、楽しい買い物ができる”

超高齢社会、環境共生、地域共生といった社会の流れを受けて、車優先の道を人優先の道に変えていくことが必要である。

三郷地区周辺に「歩いてお買い物エリア」を設定し、車の流入を抑制し、徒歩や自転車、車いすでの移動しやすさを高め、「歩いて暮らせるまち」への作り直しを進めていく。



再開発基本計画への提案

- ・歩いて買い物している時に休憩できる場所を設ける（ベンチ、カフェなど）
- ・駐輪場を明るくかっこよく
- ・歩行者と自転車が快適な計画
- ・段差がなく、車いすでも行き来しやすい、歩行者専用通路の確保
- ・市内の移動サービスとの接続とポートの整備
（例：カーシェアリング、シェアサイクル、電動キックボード）
- ・将来の「Maas^{※1}」システム導入も念頭に置き計画する

※1 Maas…「Mobility as a Service」の略従来の交通手段・サービスに、自動運転やAIなどのさまざまなテクノロジーを掛け合わせた、次世代の交通サービス



公共施設の基本構想への提案

- ・段差がなく、車いすでも行き来しやすい
- ・緑やお花があふれている
- ・場所を限定し試験的に自動運転のモビリティサービス導入の社会実験
- ・車がない社会を想定したパーソナルモビリティの活用



駅周辺まち育てへの提案

- ・「歩いてお買い物エリア」の指定、エリア内は車の流入の抑制＝フリンジパーキング^{※2} など、駐車場を再配置して、歩いて安心なエリアをつくる
- ・大型店舗の駐車場を公共性の高いオープンスペースとして有効活用
- ・ある程度強い規制で車両侵入の排除
- ・自治体の Maas 導入は時間がかかるため「TUK TUK^{※3}」等の海外事例の活用
- ・どうしても歩きたくなるエリア「コンテナモール」
誰でも申し込めば安価に店が出せる

※2 フリンジパーク…路外駐車場を都心部の外周に計画的に配置し、都心部への車の乗り入れを抑制するもの

※3 TUK TUK…タイで普及している三輪自動車のタクシー



駐車場と歩行者のための道、出店のカウンターテラスなどが溶けあった賑やかなスペースへ

参考事例

歩いて暮らせるには、ところどころ（100m から 200m間隔）に滞在できる空間が必要。空き地にちょっとした居場所を作る例として、コンテナ活用を紹介しています。

コンテナモール

駐車場の一部に約9800m²の敷地に大小7個のコンテナを設置し、コンテナモールにする



<https://www.ryutsuu.biz/topix/i100410.html>

わいわいコンテナ 佐賀



<http://www.waiwai-saga.jp/uguide/>

“ポジティブな気持ちで災害に備える”

南海トラフ地震への備えや集中豪雨などの異常気象への備えが必要である。

人のつながりこそが真の防災であり、いざという時に、マンション住民同士や近隣住民同士が助け合えるように、日ごろから、楽しく災害に備える活動、アウトドアライフの促進を図る。



再開発基本計画への提案

- ・災害に強い建物にして、安心して生活できるようにする
- ・地域からも安心感のある建物にする
- ・外国人にも優しいサイン
- ・多様な世代や異文化の人が隣り合って座れる大階段
- ・防災訓練をイベント化
(例：消化ホースで溝掃除、隣人祭り、焚火等)
- ・非常時の各施設の役割を多言語で発信する
(例：防災マップを多言語で制作、防災訓練を多言語で実施)
- ・ハラルフード※1の非常食導入

※1 ハラルフード…イスラム教（ムスリム）の戒律によって食べることが許された食べ物のこと



公共施設の基本構想への提案

- ・外国人にも優しい公共施設
(例：学童の異文化感を公共施設の運営の参考)
- ・避難所や物資配布場所としての機能の実装
- ・異文化交流プログラム



駅周辺まち育てへの提案

- ・日常的なキャンプ活動により防災力を高める
- ・小学校での防災キャンプ実施
そこで外国籍の方を含めた異文化交流プログラムを展開
- ・町内会で駅前キャンプ DAY を開催
(例：非常食ストックの試食、模擬炊き出し、モンゴル人などに学ぶ異文化交流リアルキャンプ)



危機管理を理解する防災訓練に楽しさの要素を付与する工夫づくり

参考事例

楽しく無理なく防災活動（人と人のつながりづくり、災害時の訓練や準備）をする参考例を紹介しています。

入居者合同防災訓練 パリの隣人祭り

地域の中で子どもから大人、お年寄りまでが気軽に集まって、楽しい時をいっしょにすごすイベント



<https://presentbank.jp/project/54/>

三菱地所防災訓練事例 (ツナ缶を使ったランプ作りワークショップ)

大人が帰宅困難になることを想定し、子どもたち主体での安否確認も行った



<https://www.mecsumai.com/sumai/note/1708-1/>

人があんまり集まりすぎない (MIRAI MAP8)

“ゴミが少ない、安全で、居心地が良く、ホッとできる”

人や車が集まりすぎないようにして、渋滞や騒音、
ゴミの問題を抑制することが必要である。

集客となるお店を再開発区域内外に点在させる、送迎やテイクアウト、バーチャル市場
が実施しやすい環境づくりを進め、駅周辺はむしろ、緑やゆとりのある空間とする。



再開発基本計画への提案

- ・隣人祭り※¹(アウトドアでつながる空間)
- ・「緑」と「ゆとり」のある商空間
- ・同じ場所にいる人同士でコミュニケーションが生まれる仕掛けづくり
- ・テイクアウト／デリバリーが充実したテナント

※¹ 隣人祭り…地域の中で子どもから大人、お年寄りまでが気軽に集まって、楽しい時をいっしょにすごすイベント
フランスの首都パリが発祥の祭り



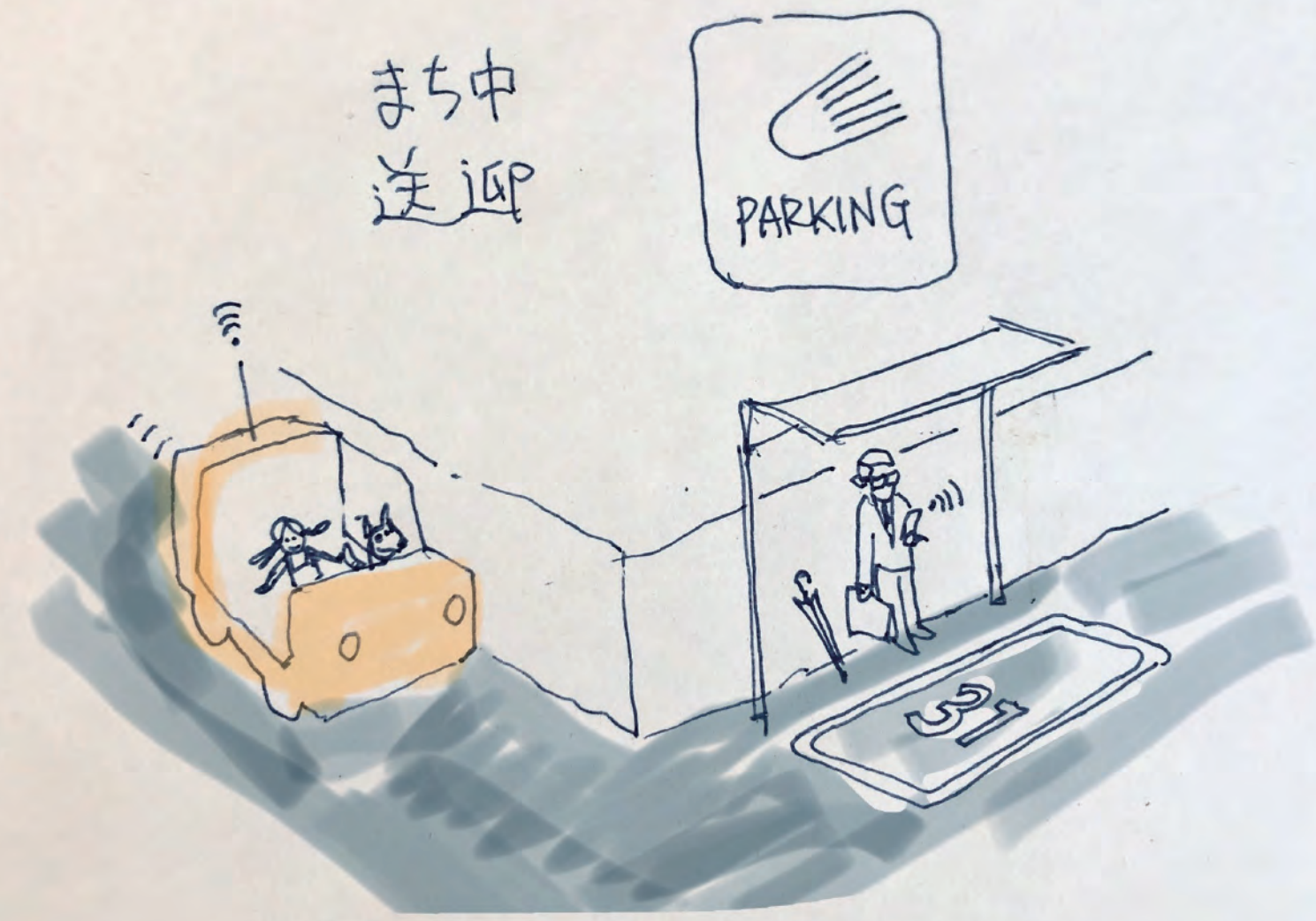
公共施設の基本構想への提案

- ・ストレスを感じさせない空間づくり
- ・商業施設の隣に公園がある



駅周辺まち育てへの提案

- ・計画区域の外に送迎機能を分散するための送迎しやすい街角づくり
- ・集客の核となる店舗を、再開発区域内に一定程度入れるものの
いくつかの店舗を意図的に、街中ストリートに点在、連続させる
- ・小さな公園の P-PFI 事業
- ・バーチャル三郷市場に出店募集、リアル空間との価値共有
- ・ピークレス通勤へのマナカポイント



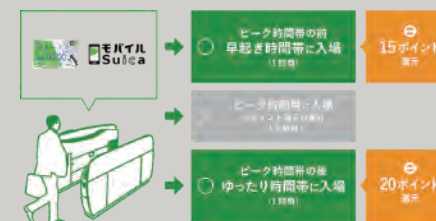
ヒトもモノも安全かつ円滑に行き交うシステム構築と道路整備

参考事例

駅前に人が集まり過ぎないための工夫として、オフピーク通勤推奨やバーチャルイベントの紹介をしています。

JR 東日本

平日の朝に、対象エリアの駅でポイント還元
対象となる時間帯に、改札機を利用して入場
した場合、JRE POINTを還元



<https://www.jrepoint.jp/campaign/B210113001>

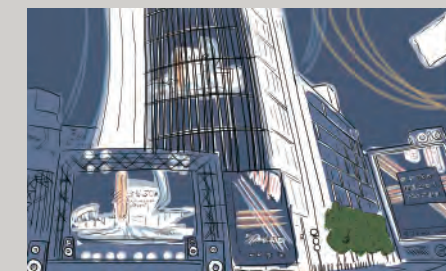
東急

オフピーク通勤をするとTOKYU POINTに
還元される

<https://ii.tokyu.co.jp/gcmorning/offpeak>

渋谷区公認 バーチャル渋谷

「渋谷区」公認の配信プラットフォームバー
チャルイベントプラットフォーム「cluster」
アプリから、スマートフォン・PC・VRゴーグル
で利用



<https://vcity.au5g.jp/shibuya>

人情あふれる「35ichiba」(MIRAI MAP3)

“人と人の繋がりを感じることができる”

三郷地区では買い物にいった先で新旧住民のおしゃべりが始まる温かいコミュニティがあり、これを継承、再創造していくことが必要である。

テナントの組み合わせにおいて大手資本と小規模事業者がともに並び立ち、常設的なお店とポップアップするお店が併存できる、新しい時代の 35ichiba を実現する。



再開発基本計画への提案

- ・商業エリアにストリートを形成する
- ・地元の方が自然に集まる、あいさつが行き交う店舗や施設
- ・テナントに大手資本以外の地元事業者、小規模事業者、スタートアップ※1 などが入れるような工夫
- ・コミュニケーションが自然に生まれる商売の推奨
- ・アフターコロナやウィズコロナを意識した換気能力の高い設備設計
- ・賑わいが見通せる透明感のある店舗空間
- ・店舗と気持ちのいいオープンスペースが連携
- ・マーケット感のあるコンテナショップやマルシェ
- ・人と人の繋がりを感じる商店・シェアキッチン※2

※1 スタートアップ…短期間で急激な成長と巨額の対価を狙う企業や事業

※2 シェアキッチン…主に複数の人が共同で使うキッチンのこと



公共施設の基本構想への提案

- ・コミュニケーションが自然発生するイベントを開催する
- ・地域が楽しく使える、楽しさが外からも見える公共施設
- ・滲み出す楽しい地域の活動 / オープンスペースとの連携も可能
- ・店舗と連携する緑道（例：自由が丘）



駅周辺まち育てへの提案

- ・再開発区域内のストリートと敷地外のストリートを連続させる
- ・35ichiba を民間プロジェクト化し、地域内外の起業家からアイデアを募り少ない資金でテスト出店・ポップアップ出店※3 可能な仕組みづくり

※ポップアップ出店…比較的短い期間限定で開設されるショップのこと



賑わいを五感から感じ取れるオープンスペースを活用したイベント

参考事例

人のつながりを高める工夫（新旧店舗の混在、買い物後の滞在空間）のある商店エリアの参考例を紹介しています。

円頓寺商店街

明治から続く老舗店も点在する中、個性豊かな新しい店舗も次々とオープン



<https://endojishotengai.com/>

自由が丘の暗渠緑道

テイクアウトしたスイーツを食べたり、ショッピングの合間に休憩したりする人が多い



<https://sotonoba.place/kuhonbutugawaryokudo>

松山の社会実験

これまでに「みんなの広場」「もぶるテラス」を効果検証



[https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/toshikeikaku/Urban design/13850120141022.html](https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/toshikeikaku/Urban%20design/13850120141022.html)

情報センターから生まれる繋がり (MIRAI MAP10)

“街や地域の情報を駅前でコミュニケーションできたり、
キャッチアップできる”

駅前の新しい機能として常に新しい街や地域の情報が得られ、それに関連する人の出会いやコミュニケーションが生まれる場所が必要である。
一人でもいられる、趣味や仕事で同じ関心を持つ人と出会える、何かに挑戦するための機会と場所がある。そんな情報が得られ、つながりと活動生み出される情報センターを実現する。



再開発基本計画への提案

- ・新しい居場所のあり方の提供
(例：一人の居方、グループの居方)
- ・街の魅力をまとめたマップをサイネージで表示
- ・誰もが自由に使えるフリー Wi-Fi の整備
- ・駅前にシェアオフィス
- ・リモートワーク支援やビジネスのサポート機能
- ・業種間交流のコミュニティマネジメント機能



公共施設の基本構想への提案

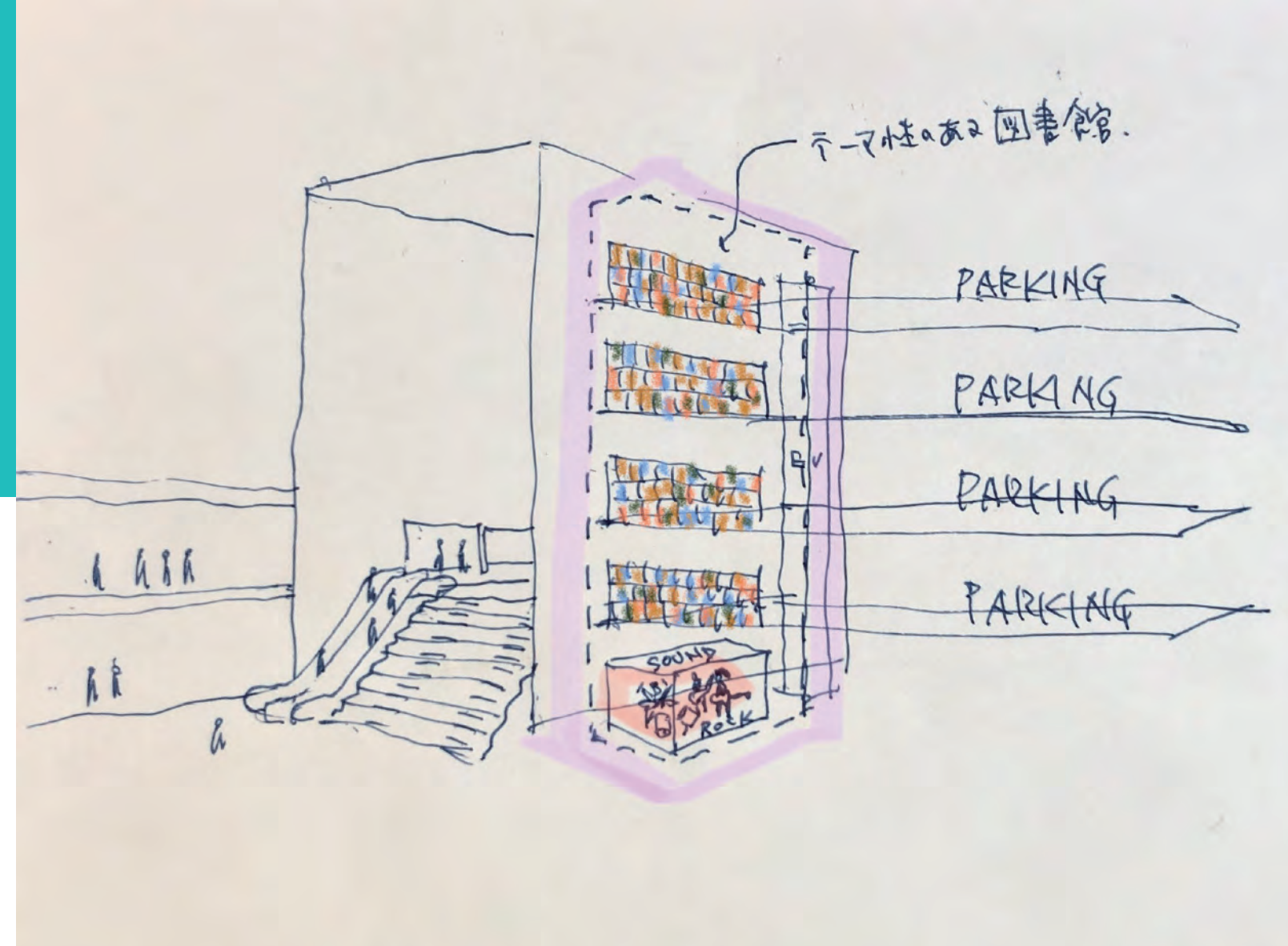
- ・地域の情報をキャッチできる場や施設 (情報ハブ機能)
- ・ネットに強くない人でも最新のお店やイベント情報を集めることができる★¹
- ・図書館ではなくても良いので、図書館の良さがある
(例：情報収集が可能、静かな空間、勉強できる空間、子ども読み聞かせ)
- ・予約しなくても使えるフリースペース
- ・市が市民に提供するホスピタリティを代表する公共施設
- ・コワーキングスペース (簡単な認証)/ 時間占有も可能なスペース
- ・テーマ性のある情報施設
(我が町 + 自然 + アウトドア + 園芸 + エシカル※¹ + アート + 音楽)
- ・音楽やバンド活動ができる防音設備
- ・「自由に活動ができるオープンな空間」と連動

※¹ エシカル…法律などの縛りがなくても多くの人たちが正しいと思うことで、人間が本来持つ良心から発生した社会的な規範



駅周辺まち育てへの提案

- ・地域の店舗やイベントなどの情報が集まる仕組み (担い手を含む)



ライフスタイルを常に更新し続けるパブリックプラットフォームを構築する

参考事例

本 (情報) を活用した居場所づくり、駅周辺の情報収集と発信の先行例を紹介しています。

蔦屋書店 名古屋みなと

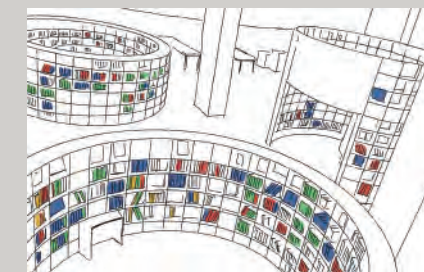
「WITH FAMILY」をテーマに、ご家族、ご夫婦で始める新しいコトや、すごす時間を届ける空間づくり



<https://store.tsite.jp/nagoya-minato/floor/shop/tsutaya-books/>

アムステルダム 中央図書館

無料Wifi があり、公共の図書館というよりは、コワーキングスペースのような印象のある図書館



<https://oranda.jp/guide/ams-library/>

★¹

岡崎市では、中心市街地に主要回遊動線 Quruwaを設定し、地区内のお店や公共施設の情報を一元的に集約し、WEBサイトで発信しています



<https://quruwa.jp/>